

いまやろう！



にほん お さい がい しゅ るい し
日本で起こる災害の種類を知ろう



じしん
地震



ふうすいがい
風水害



せつがい
雪害



ふんか
噴火

じぶん かぞく まも
自分・家族を守る

にほん お さいがい しゅるい し
日本で起こる災害の種類を知ろう

にほん さまざま さいがい お さいがい とくちょう し お つ たいおう
日本では、様々な災害が起こります。災害の特徴を知って、落ち着いて対応しましょう。

- 地震：地面が揺れます。家具が倒れたり、建物や道が壊れたりします。地震が起きた後は、火事が起きることもあります。また、「津波」といって、海の水が陸の上流れてくることがあります。地震が発生したら、倒れたり落ちたりしてくるものから身を守りましょう。火事や津波が発生したら、すぐに避難しましょう。
- 風水害：強い風や雨によって起こる災害です。たくさんの雨が降って、地面が水につかったり、川があふれたりします。「内水氾濫」、「洪水」と言います。また、雨によって山の斜面や崖が崩れることもあります。「土砂災害」と言います。強い風で物が壊れ、飛ばされることもあります。「暴風」と言います。日本では、春から夏にかけて梅雨になります。雨がよく降ります。夏から秋にかけては「台風」が来ます。強い風や大雨がよくあります。天気予報などで事前に予測できるので、早めに避難しましょう。
- 雪害：雪がたくさん降ることによって起こる災害です。雪が多い場所では、積もった雪で家がつぶれたり、山に積もった雪が崩れたりします。凍った道路で車や人がすべて事故やけがを引き起こすのも雪害のひとつです。雪がたくさん降っている時には外出せず、安全な場所にとどまるようにしましょう。どうしても外出しないといけないときは、すべらないよう気をつけて行動しましょう。
- 噴火：火山の地下から、高温で溶けた岩や、細かいちりのようなものが噴き出します。熱いガスや岩の流れに巻き込まれたり、大きな岩が飛んできたりする危険があります。できるだけ噴火の影響が及ばない場所へ避難しましょう。間に合わない場合は、近くの丈夫な建物内など安全な場所に避難しましょう。

【いまやろう！】

1. 住んでいるまちのハザードマップや防災ガイドを見て、自分の地域でどんな災害が起こるのか調べてみよう。

👉 こちらも CHECK：「自分・家族を守る」④～⑥